

顎関節症の最新の考え方と治療法 —世界標準的視点から—

講師 島田 淳 氏

◇グリーンデンタルクリニック理事長

◇日本補綴歯科学会 専門医、指導医

◇日本歯科心身医学会 代議員

◇日本顎関節学会 理事、専門医、指導医

◇日本口腔顔面痛学会 代議員、専門医、指導医

◇ ご案内 ◇

顎関節症の治療法は、随分と変わってきているらしい。NHK の健康番組『ためしてガッテン』でも、症状悪化の予防に、『あごこり』のほぐしのマッサージと開口運動を推奨していたくらいだ。遅ればせながら、歯科を標榜する私達もアップデートしていかなければならない。

講師には日本顎関節学会理事で、デンタルダイヤモンド誌に、メンタル的にも対応の難しい患者さん達との臨床での出来事を軽妙な文章で連載されていた、島田淳先生にお願いいたしました。楽しくためになるセミナーとなりそうです。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

2019 年 9 月 29 日 (日) 9:30～12:30

ホテル金沢 4 階 エメラルド 金沢市堀川新町 1-1 (金沢駅東口から徒歩 1 分)

【対象】会員医療機関の歯科医師およびスタッフ

【定員】100人 【参加費】無料。申し込み方法は裏面をご覧ください。

講師のご紹介

【ご略歴】

- 1987 年 日本大学歯学部卒業
- 1991 年 日本大学大学院歯学研究科卒業 (歯科補綴学専攻)
- 1991 年 日本大学歯学部助手 (補綴学教室局部床義歯学講座)
- 1995 年 日本大学助手
- 1999 年 東京歯科大学助手 (スポーツ歯学研究室)
- 1999 年 東京歯科大学講師
- 2005 年 医療法人社団グリーンデンタルクリニック理事長 (～現在)
東京歯科大学非常勤講師 (スポーツ歯学研究室) (～現在)
- 2008 年 神奈川歯科大学附属病院咬み合せリエゾン診療科非常勤講師
- 2013 年 神奈川歯科大学顎咬合機能回復補綴医学講座特任講師
- 2017 年 神奈川歯科大学臨床教授 (～現在)

【最近のご著書】

論文: 日常臨床での歯科心身症患者への対応について 日本歯科心身雑誌, 32(2), 60-73, 2017,

単著: 『ある日突然やってくる困った患者さん「あなたなら、どう診る?」』デンタルダイヤモンド社 2019、『歯医者に聞きたい顎関節症がわかる本』口腔保健協会 2016

共著: 『顎関節症 運動療法ハンドブック』医歯薬出版 2014、『顎関節症 スプリント療法ハンドブック』医歯薬出版 2016、『顎関節症 セルフケア指導ハンドブック』医歯薬出版 2018、『プロフェッショナルが語る顎関節症治療』医歯薬出版 2017、『こころの病気と歯科治療』デンタルダイヤモンド社 2018

雑誌連載: 「歯科患者学」から探る GP の難症例対応 デンタルダイヤモンド 2012 年 1 月号 - 2013 年 12 月号、ストーリーから学ぶ咬合違和感症候群 デンタルダイヤモンド 2016 年 1 月号 - 2018 年 12 月号

主催 石川県保険医協会

TEL 076-222-5373

FAX 076-231-5156

Eメール ishikawa-hok@doc-net.or.jp

◇ 講演抄録 ◇

顎関節症は長い間、その実態が把握できず、病因論が変遷を重ねたため、それに伴い種々の治療法が推奨され混沌を極めてきた。しかし近年ようやく病態への理解が進んだことから国際的に顎関節症に対する考え方は統一されつつある。

2010年3月に American Association of Dental Research (AADR) が顎関節症 (TMD) の診断と治療に関する policy statement を発表して以来、世界の顎関節症を取り巻く状況が大きく変わってきている。現在における顎関節症の世界的な共通認識は、1) 顎関節症は臨床症状の類似した病態の異なるいくつかの症型からなる包括的疾患名であること、2) 生物心理社会的モデル (biopsychosocial model) の枠の中で管理される必要があること、3) 症状の自然消退の期待できる (self-limiting) 疾患であるゆえ、まず保存療法を優先させることとなっている。こうした中、2014年に、DC/TMD (Diagnostic Criteria for TMD) が、新しい国際的な分類・診断基準として採用され、世界各国でこれを取り入れるよう準備が進んでいる。日本顎関節学会では、いち早く世界標準への対応を行っており、現在これを一般臨床医が利用できるよう「顎関節症治療の指針2018」を公開している。

ただ実際の臨床において顎関節症は多彩であり、標準的な対応だけでは難しいことは周知の通りである。演者はこれまで大学病院、また開業医となった後も、顎関節症や咬合違和感症候群などの多彩な症状を訴える症例に対し精神科医との医療面接をはじめとして様々な対応を行ってきた。今回の講演では、まず DC/TMD を中心に、最新の国際的な顎関節症の考え方と「顎関節症治療の指針2018」について解説を行い、顎関節症の基本的な治療戦略と実際の治療について、演者がこれまで行ってきた症例を基に、セルフケア、認知行動療法的対応、運動療法、スプリント療法、咬合治療など、現在考えられている治療をどのように用いていくか、難症例への対応を含めお話しさせていただきたい。

▽ 参加申込書 FAX (076-231-5156)

*切り取らず そのままFAXで送信してください

*電話、メール、協会ホームページからのお申し込みも可能です。

*申し込み締め切り 9月24日(火)

医 療 機 関 名	
電 話 番 号	
参加者氏名① (職種)	()
参加者氏名② (職種)	()
参加者氏名③ (職種)	()